

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

山本さん 蘭さん 吉村さん 写真コンテスト特別企画「2020」表彰

写真コンテストの表彰式は、今年の2月1日以来。結果は、初出展者の3名が審査員特別賞、センター長賞、人気投票（総数136票）の1位（15票）と2位（14票）を含めて独占されました。

手話通訳者養成講座Ⅰ・Ⅱの受講生もほとんどが出席され、大盛り上がりになりました。（7月25日）



【審査員特別賞】山本明夫さん
「For the first time」（武雄図書館）

昨年11月、宮崎から引っ越してきた。
インターネットで武雄市立図書館を見つけ、喫茶店もあり素晴らしいところでした。

2つも賞をもらって驚いています。
コンテストに出品するため
スマホから選んだ。最も気に入ったのは被写体の友人から却下され出品できませんでした。



【センター長賞】蘭絵美子さん
「物理的な距離だけ」（京都駅）



【最多得票賞】蘭絵美子さん
「明日に沈む夕日」（京都八坂神社）



山本さん

吉村さん

蘭さん



【888記念日賞・あと一歩で賞】吉村友美さん
「足跡」（沖縄・自宅前）2枚組写真

888記念日賞とは…表彰を予定していた令和3年3月1日が、佐賀県手話言語と聞こえの共生社会づくり条例制定（平成30年9月25日）から888日経った日を記念した賞。

募集開始

佐賀みみサポ写真コンテスト
特別企画 第2弾！！

課題「佐賀のよかところ」

今回の特別企画は、創立777記念！佐賀のよかところ（良いところ）をテーマに作品を募集します。県外に出かけることもままならない今、改めて佐賀県の魅力を写真におさめて応募してください。詳細は申込用紙にて。

募集は令和3年8月22日（日）締切。

応募できるのは、佐賀県内在住の聴覚障害者およびその支援者です。

※R3年11月7日は、センター設立から7年7か月7日目である記念の日です。

鶴崎與市郎 写真展～7/25 閉幕～ご来館いただいた皆様、写真等ご提供いただいた皆様、ありがとうございました。

ちょうどコロナも落ち着いた11月に京都に行った時、JR 京都駅のライトアップ、八坂神社を背にした夜の夜景を撮りました。賞を取れると思っていませんでしたが、これを機に次も撮ろうと思っています。

～北村審査員の講評～

コロナ禍で外出がなかなか出来ない時、たまたま見かけた一瞬の様子を良く撮られている。京都の写真、図書館の写真、太宰府の写真、それぞれの時間を上手に切り取っている。

アングルも良くなり、撮影技術が向上しているのが分かる。

以前の写真は、花の写真であれば全体にピントが合っているべた塗のような写真が多かったが、ピントや絞りを合わせて面白く撮られるようになってきている。また、お孫さんや犬など、撮りたいものをアップでしっかり撮れている。何気ない日常を素晴らしい作品として撮れている。意識が高くなっているのが良く分かる。

あとひとつ少し工夫すれば良くなる写真も多い。逆に、これはダメだという作品がない。（談）



講評

審査員 北村和秀氏

TOKYO 2020 オリンピックの年

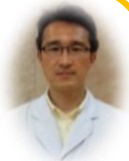
令和3年5月10日（月）大町町 第5巻者

鶴崎與市郎

写真展

閉幕

シリーズ (43)
山口相談医のひと言コメント



耳垢・耳掃除について その3

耳垢について2回述べてきましたが、耳垢が正常に排除されなかったらどうなるかです。まずは、耳垢の量にもよりますが、ものが詰まってくるので、聞こえにくくなったり、詰まった感じ＝耳閉感を生じて、不快感が出てきます。

ケースごとで違いも大きいですが、**乾燥**した耳垢の場合、聞こえにくさ、耳閉感が生じないこともあります。相当量が溜まって初めて症状がある印象です。

学術的ではありませんが、粗いスポンジみたいになっているため、個人的には、隙間が多いので見た目ほどの閉塞を起こしていないのだろうと思っています。

時々、「昨日お風呂にはいった後で、急に聞こえが悪くなった」と言ってくる患者さんがいます。突発性難聴かなと思って診察すると耳垢が詰まっていて、除去すると、スッキリ聞こえる、ということになることがあります。おそらく、スポンジ状の耳垢に水が染み込んで、完全に閉塞してしまったので、このようなことが起きたのだらうと思います。

水分の多い耳垢では、粘土を詰めたようになるので、聞こえにくさ、耳閉感が生じやすいようです。詰まっている分量が少なくても強い症状を訴えられます。

●はじめての要約筆記体験教室（全障スポ）

9月3日、10日、17日（金曜日）

10～12時 うれしの市民センター

●インターン生今年も来館

大学生、高校生のインターンが毎年やってくる時期になりました。8月18日に、大学生、高校生各1名がセンター業務を学びます。

編集後記：生まれ変わったらやってみたい五輪種目は、スポーツクライミングのスピード 

初の「聴覚障害者くらしのニーズ」調査
シリーズ<3> 医療

～聞こえないことに起因する意思疎通・コミュニケーションがとれないことからの課題へ対応が求められる～

新型コロナウイルス対策の切り札としてワクチン接種が急がれています。高齢者の接種率では、佐賀県は全国でもトップクラスにあります。

ところが、聴覚障害者が接種を受けるまでに、いくつかのハードルがあります。まず、予約。かかりつけ医での個別接種なら顔見知りですが、集団接種となるとウェブでの予約、次に予診票の記入、会場での確認、予診、そして接種、経過観察の手順になります。

聴覚障害者にとっては、いずれも難しい問題です。集団接種会場では、手話通訳者や要約筆記者をあらかじめ準備しておく必要があります。

今回のくらしニーズ調査でも、50歳以上の93.7%が通院中です。家族同行33.8%、手話通訳者と同行22.7%、1人で行っている64.3%となっています。（複数回答）

病気のときに困ることは、急病時53.1%、医師の説明がわからない39.8%、医師に病状を詳しく伝えられない31.0%等となっています。

手話通訳者との同行のほか、病院に手話のできる医師や看護師、窓口の事務職は、極めてまれです。最低限、情報支援者が配置され、必要な合理的配慮が可能になることを要望します。



聴こえのセミナー

・10月3日（日）13：00～14：30

「より良い聞こえをお求めの方に」

補聴援助システムと補聴器

商工ビル7階 大会議室



巡回聴こえの相談

・10月20日（水）相知市民センター

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12（佐賀商工ビル4階）

TEL：0952-40-7700 FAX：0952-40-7705

メールアドレス：info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス：http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9：30～18：00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日